

株主の皆様へ

YODOGAWA STEEL WORKS
Steel sheet / Building material / Exterior / Roll / Grating

第116期 (平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(重要文化財 ヨドコウ迎賓館)

株式会社 **淀川製鋼所**

証券コード 5451

株主の皆様へ

当社は本年1月に創立80周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

わが国におけるコーポレートガバナンスを巡る状況は、近年、大きく変わりつつあります。当社グループは、従来から実践してまいりました実効的なコーポレートガバナンスをさらにレベルアップし、持続的な成長と企業価値向上を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月



代表取締役会長
國保 善次

代表取締役社長
河本 隆明



国内事業の基盤強化を図るとともに、
海外事業を軌道に乗せるべく、
グループの総力を挙げて取り組んでいきます

代表取締役社長
河本 隆明

Q 当期(2014年度)の市場環境はいかがでしたか?

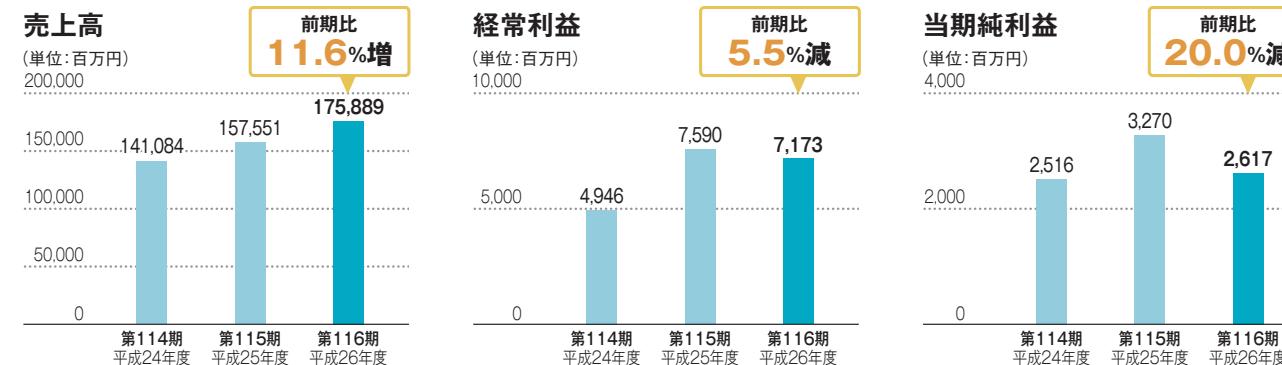
A 個人消費や住宅着工は
依然足踏み状態のまま

日本経済は、消費増税の影響や夏季の天候不順の影響などから上半期を中心に弱含む状況で推移しました。下半期には日銀による追加金融緩和や米国の利上げ予想などの要因から、円安と株価上昇が進み回復の期待が

高まりましたが、個人消費や鉱工業生産、住宅着工などの回復の足取りは弱く、一進一退の状況が続いています。

鉄鋼業では、中国経済の成長鈍化から中国鉄鋼業の輸出に拍車がかかり、海外市況はアジアを中心に軟調に推移し、不透明感が高まっています。日本国内市場は需要に力強さを欠き、期間の終盤には在庫が積みあがる状況となりました。また、円安が進んだにもかかわらず安価な輸入材の流入が高水準で推移しました。

連結業績の推移



Q 当期の業績について教えてください

A 鋼板関連事業堅調も
コスト増吸収できず増収減益

当社グループは「自主自立」の精神を発揮しつつ、機動力のある仕入・生産・販売体制を活かして、積極的な販売と地道なコストダウンに努めました。また、鋼板関連商品の価格改定に取り組んだ結果、増収となりました。

一方、原材料価格やエネルギーコストの上昇による影響を受けたほか、中国の子会社淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司(YSS社)、タイの子会社PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. (PPT社)の販売計画に対する進捗の遅れもあり、損益面では厳しい結果となりました。

こうした取り組みの結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高が1,758億89百万円(前期比183億38百万円増)、営業利益が34億28百万円(同26億94百万円減)、経常利益が71億73百万円(同4億16百万円減)、当期純利益が26億17百万円(同6億53百万円減)となりました。

Q 当期のセグメント別の
取り組みについて教えてください

A 主力の鋼板関連事業が
内外ともに好調

鋼板関連事業では、鋼板業務および建材業務ともに

増収となりました。

鋼板業務では、日本国内のひも付き(特定需要家向け)は、鋼製下地材や足場板向けなどのめっき鋼板商品を中心に、堅調に推移しました。店売り(一般流通向け)では上半期は消費増税の影響などから弱含み、下半期は回復傾向ながら勢いを欠く結果となりました。また、台湾の子会社盛餘股份有限公司(SYSCO社)では北米向け輸出が好調でした。

建材業務は、屋根材が順調だったほか、エクステリア商品において、カーポートや倉庫など大型商品を中心に好調に推移しました。また、比較的大規模な商業施設・学校・物流施設などの完工があり、工事部門も増収となっています。

ロール事業については、鉄鋼向けロールの需要が回復傾向にあるほか、製紙、フィルムメーカー向けのメンテナンス需要も堅調で、増収となりました。

グレーチング事業については、価格改定と積極的川下営業、高機能商品の拡販に取り組みましたが、消費増税前の駆け込み需要の反動などの要因から減収となりました。

Q 海外事業の現状と
取り組みはいかがでしょうか?

A 中国YSS社およびタイPPT社は、
品質の安定と生産量拡大めざす

日本国内における営業基盤のさらなる強化とともに、海外事業の強化も重要な経営テーマとらえています。

2013年6月には、中国YSS社が稼働を開始しました。表面処理鋼板の生産・販売を担い、中国で生産し、中国で販売する“地産地消”をめざしています。家電メーカー向けのプレコート鋼板に加え、建築用の屋根材、壁材をはじめとする付加価値の高い商品を提供していくことで、中国の巨大市場を開拓していきます。

また、タイPPT社は日系の家電メーカー向けを中心に高品質なプレコート鋼板の供給に努めており、今後はタイを含め近隣諸国への販売強化を図っていきます。



YSS社製鋼板を使用した施工事例
ユニチャーム生活用品(江蘇)有限公司

Q 当期のトピックスをお聞かせください

A 商品面・営業面で積極展開

グループ経営強化の面では、当社の二つの窓口商社のうち、子会社の白洋産業株式会社は、グループとしての一体感を高める狙いで2015年1月「淀鋼商事株式会

社」に商号を変更しました。また、株式会社佐渡島についても、当社株式の保有比率を高めるなど関係をより強化しました。

営業面においては、2014年6月、福島県郡山市に福島出張所を開設しました。東北地区では今後住宅の復旧・復興が本格的に進み、物置を始めとするエクステリア商品の需要拡大が予想されます。このような状況をふまえて、福島県下において地域密着型の営業を強化していきます。

商品面においては、ヨド物置「エルモ」のモデルチェンジを行いました。部材点数の削減などにより大幅な施工時間の短縮を実現したほか、防災関連オプションとして、災害時の電源確保に役立つ「太陽光発電・蓄電池セット」、トイレ用水の確保等を目的とした「雨水タンクセット」やプライバシー確保に役立つ「間仕切りセット」などのオプションを品ぞろえしました。

また、ヨド物置のイメージキャラクターに、モデルで女優の杏さんを起用し、「LIFE with ヨド物置」をコンセプトにした新TVCMを放映し、好評をいただいています。

「ヨド耐火パネル グランウォール」は、耐火1時間構造を認定取得した非住宅建築物向け外装パネルで、下期から実績に寄与しています。

泉大津工場の遊休地に次いで、福井工場、大阪工場においても大規模太陽光発電(メガソーラー)システムを設置し、再生可能エネルギーの買取制度に基づく売電を開始しました。

また、大型物件として「もりのみやキューズモール」(大阪市)、「イオンモール 沖縄ライカム」(中頭郡)など大型複合商業施設を手がけました。



イオンモール 沖縄ライカム

Q 今期(2015年度)の市場展望についてお聞かせください

A 需要は底堅く推移も、損益面は厳しさが続く見通し

今期、世界経済は米国による牽引が期待される一方、

減速する中国経済への懸念など、不透明感が強まっています。海外の鉄鋼市場は、米国での需要の伸び、最大消費国である中国の金融緩和などによる需要下支えが期待されますが、各地域でアンチダンピング調査やセーフガード発動の動きが懸念されています。

日本国内に目を転じると、長引く消費増税の影響は徐々に解消し、鉄鋼需要も底堅く推移すると考えられます。反面、原材料価格が高止まりする一方、表面処理鋼板など鉄鋼二次製品の価格はアジア市況の影響を受け、厳しい状況が続くものと予想されます。

Q 今期(2015年度)の取り組みについて、どのようにお考えですか?

A 海外事業を軌道に乗せ、アジアの需要の獲得をめざす

国内事業については、商品力およびサービス力のさらなる向上を図ります。そのために、鋼板・建材・エクステリアの各部門の協働を一層強化し、お互いの知見やノウハウを活かした商品開発を進めていきます。当社は耐風圧・水密試験設備や各種の防耐火試験設備などを保有しておりますが、これだけ充実した試験設備を保有している民間企業は国内では数えるほどしかありません。当社はこれらの試験設備と豊富な試験データ・ノウハウを活用しながら、お客様の商品開発への協力も行い、鋼板関連商品全体のシェアアップに取り組んでいます。

また、ロール、グレーチングの各部門については、ど

のような環境下でも利益を出せるよう、体質強化を進めます。

海外事業につきましては、中国YSS社およびタイPPT社の軌道乗せを当面の重要課題として、グループの総力を挙げて取り組んでいきます。

株主の皆様に対する利益還元についても最重要課題の一つであり、その方策としては、自己株式の取得ならびに配当金のお支払い等を想定しています。配当につきましては、業績に応じた配当のお支払いを安定的かつ継続的に行うことを基本方針としており、連結配当性向は年間30%~50%程度を目途としています。

Q 最後に今後の抱負についてお聞かせください

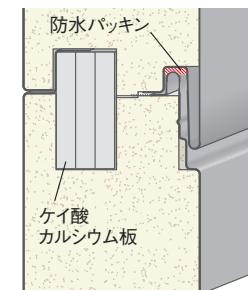
A ステークホルダーの期待に応える会社に

株主の皆様をはじめ、取引先、そして従業員まで当社のステークホルダーの期待に応える会社をめざしています。そのためにも、企画力および総合力をさらに発揮して、国内外の経営課題にグループ一丸となって積極的に取り組み、企業価値の拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

NEWS 「ヨド耐火パネル グランウォール」

昨年10月に発売しました「ヨド耐火パネル グランウォール」。表裏2枚の鋼板でロックウール断熱材を挟んだ耐火性・断熱性・耐震性などに優れた外装パネルです。耐火建築物等に対応する外装材として、耐火1時間構造の認定を取得。グランウォールの施工だけで断熱工事、外装・内装仕上げを行うことが出来るため、施工の省力化・工期短縮が可能となり、これまで広く採用されているALC(軽量気泡コンクリートパネル)に替る外装パネルとして注目されています。



断面図



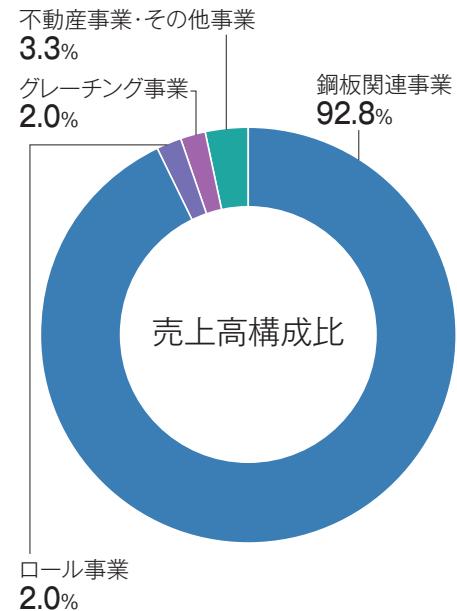
施工中のグランウォール

売上高 **175,889**百万円
(前期比 11.6%増)

営業利益 **3,428**百万円
(前期比 44.0%減)

経常利益 **7,173**百万円
(前期比 5.5%減)

当期純利益 **2,617**百万円
(前期比 20.0%減)



鋼板業務

日本国内は、めっき鋼板でひも付きが堅調に推移し、店売りは、下半期回復傾向ながら勢いを欠く
台湾 SYSCO 社は、台湾国内での選別受注と好調な北米への注力で増収
中国 YSS 社およびタイ PPT 社の業績貢献にはなお期間を要するが、販売は徐々に向上

今後の取り組み

- 原材料価格・エネルギーコストの上昇を鑑み、引き続き価格改定に注力
- 海外は中国 YSS 社・タイ PPT 社の軌道乗せと現地需要家との関係強化に注力

建材業務

建材商品は、新商品「ヨド耐火パネル グランウォール」が下期から実績に寄与し増収
物置は、新型エルモが高い評価を得るも、消費増税の反動減を補えず
倉庫や積雪タイプのカーポートなどが関東地区を中心に好調に推移
工事では、ショッピングセンターや学校・物流施設などの大型物件を完工し増収

今後の取り組み

- 建材商品では、新商品「ヨド耐火パネル グランウォール」の拡販
- エクステリア商品では、防災関連分野の引合いが増加しており、引き続き開発に注力
- 工事では、今後も引き続き大型物件の受注に注力



鉄鋼向けロールの需要が回復傾向にあり販売量増加
販売価格改善に一定の成果
新規開拓も順調に推移

今後の取り組み

- さらなるコスト削減と販売価格改善に引き続き注力
- 新規顧客の継続受注獲得



川下営業に継続して取り組み、防衛施設・港湾・エネルギー関連・民間の工場等で実績
販売店向けでは、高機能商品を活用し提案営業を行い、店内シェアアップに注力

今後の取り組み

- 新規販路の開拓とプロジェクト案件獲得に注力
- 価格改定と高機能商品販売拡大による採算向上



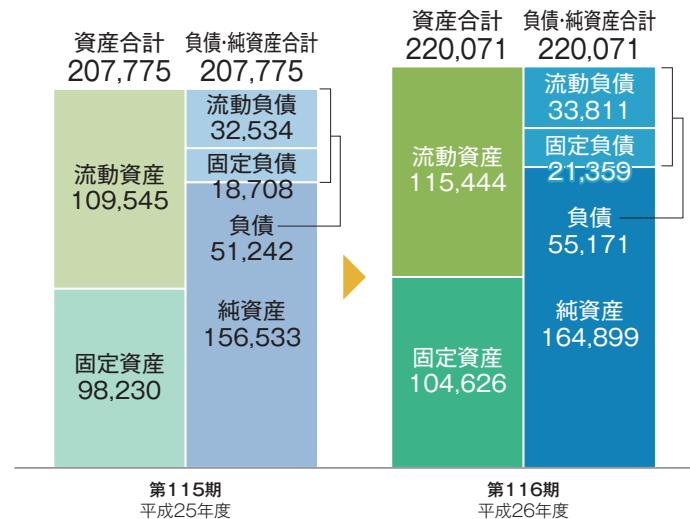
不動産事業は、販売用不動産の売上計上により増収
エンジニアリング業務は、海外プラントの売上計上により増収
当社福井工場および大阪工場ならびにヨドコウ興産姫路工場においても太陽光発電システムを設置し、売電開始

今後の取り組み

- 引き続き資産の有効活用に取り組む

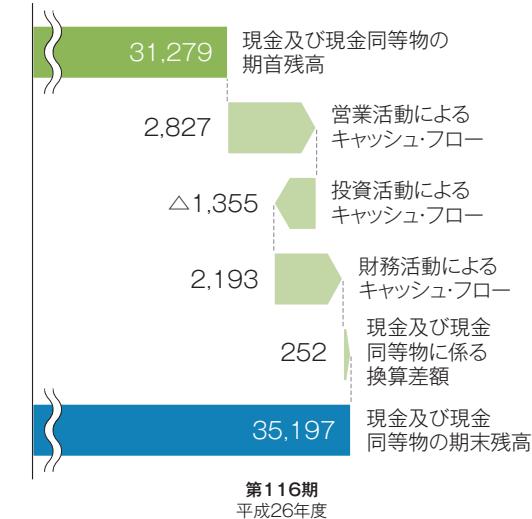
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



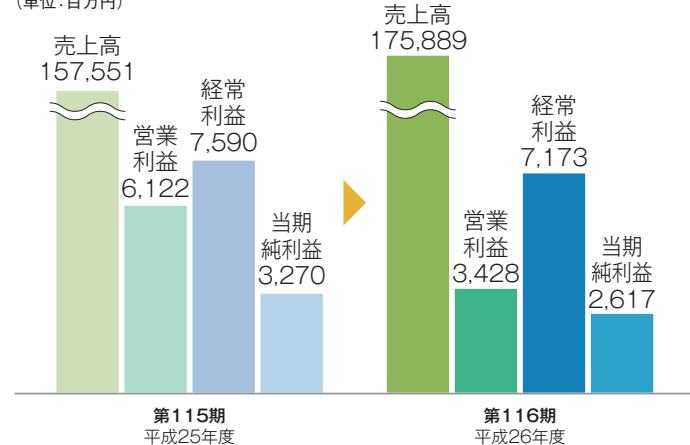
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



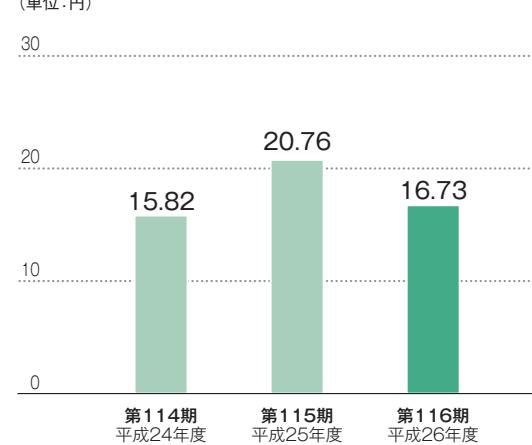
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益(連結)

(単位:円)



当社の概要

社名 株式会社淀川製鋼所
 設立 昭和10年1月30日
 資本金 23,220,815,228円
 従業員数 1,197名

当社の主な事業所

本社 〒541-0054
 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
 06-6245-1111
 支社 〒104-0041
 東京都中央区新富一丁目3番7号
 03-3551-1171
 営業所 札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎
 東京統括、横浜、静岡、北陸、名古屋統括
 大阪統括、神戸、岡山、広島、高松統括
 高知、八幡、福岡統括、鹿児島、沖縄
 工場 大阪(大阪府)、呉(広島県)、市川(千葉県)
 福井(福井県)、泉大津(大阪府)

当社の主な関係会社

- 連結子会社
 - 高田鋼材工業株式会社 鋼板の加工および販売、倉庫業
 - 盛餘股份有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - 淀鋼商事株式会社(旧 白洋産業株式会社) 鉄鋼卸業、運送業
 - 京葉鐵鋼埠頭株式会社 倉庫業
 - ヨドコウ興発株式会社 ゴルフ場等経営および不動産賃貸
 - 淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. カラー鋼板の製造、加工および販売
- 持分法適用関連会社
 - 株式会社佐渡島 鉄鋼卸業

当社の役員(平成27年6月24日現在)

取締役	執行役員
代表取締役会長	國保善次
代表取締役社長	河本隆明
取締役 専務執行役員	大森豊実
取締役 常務執行役員	林眞生
取締役	佐伯壽一
取締役	岡村裕
	常務執行役員 大森眞
	上席執行役員 二田哲
	執行役員 渡辺隆昌
	執行役員 服部格
	執行役員 中野要一郎
	執行役員 河本善博
	執行役員 隈元稔夫

※佐伯壽一および岡村裕の両氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役

監査役(常勤)	境口勝己
監査役(常勤)	森岡司郎
監査役	湯浅光章
監査役	宇津呂修

※湯浅光章および宇津呂修の両氏は会社法に定める社外監査役です。

● 株式併合と単元株式数の変更に関するお知らせ

第116期定時株主総会において、平成27年10月1日をもって当社普通株式5株を1株の割合で併合すること及び単元株式数を1,000株から100株にすることについてご承認いただきました。
 この件に関するお問合せは、お取引の証券会社または株主名簿管理人である「みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部」までご連絡ください。

ご連絡先 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	1,000株 10ページのお知らせをご覧ください。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/

スチール! & アイデア! ヨドコウ

〒541-0054 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
TEL. (06) 6245-1111 (大代表)
<http://www.yodoko.co.jp/>



株式に関する手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名などの変更 ● 配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社	
● 郵送物の発送・返戻に関するご照会 ● 未払い配当金に関するご照会※ ● その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名などの変更 ● 配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
● 郵送物の発送・返戻に関するご照会 ● 未払い配当金に関するご照会※ ● その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

※ 未払い配当金のお支払いについては、株式会社みずほ銀行本店および各支店でもお取り扱いいたします。

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
郵送物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

重要文化財

ヨドコウ迎賓館(旧山邑家住宅)のご案内



開館ご案内

開館日 水・土・日曜日と祝日
開館時間 10時～16時(入館は15時30分まで)
入館料 大人・大学生/500円 団体/400円(30名以上)
小・中・高校生/200円 団体/100円(30名以上)

お問い合わせ

淀川製鋼所 広報課 06-6245-9103
ヨドコウ迎賓館 0797-38-1720
<http://www.yodoko.co.jp/geihinkan/>

